



物流ニッポン

発行 火曜日・金曜日 第4179号
創刊号 毎月30,000円(税別) 送送料別

物流ニッポン新聞社 2019 (1928)年4月1日創設(有限会社)

2019年(平成31年)
4 | 26
(金曜日)

落花生選別工場を本稼働

富士倉庫 高度な衛生基準クリア

富士倉庫 坂口雅彦社長、横浜市中区)は、横浜港本牧ふ頭(同区)に設置した落花生の選別工場を4月中

句から本格稼働させた。関アした選別ラインを導入。保税地域内で選別作業が行えるのが特徴で、物流と一体となった高付加価値サ

ビスを菓子メーカー向けに提供。品質向上とともに物流コスト低減にもつなげていく。

本牧ふ頭D突堤にある倉庫の1階部分850平方メートルをクリーンルーム化し、選別ライン2本を設置。最新の鋭い設備を導入して色や比重、サイズの選別を実施するほか、近赤外線及びエック

クス線、金属検知機による異物検査、割れやカビの有無のチェックなども行う。工場内は空調完備で、壁・床面は防塵加工が施されるほか、エアシャワーを設置。虫が寄り付かないLED(D:発光ダイオード)照明を採用するなど、食品工場並みの衛生環境を整え、大手菓子メーカーが求める高い衛生・品質基準に対応している。



扱うのは、主に北米、南米から輸入され、菓子メーカーに納入される落花生。これまで手作業による選別が中心だったが、人手不足でパート従業員の確保が難しくなってきたことから機械化した。一層の人手不足に備えるとともに、衛生・品質面の更なるレベルアップを図り、商社や菓子メーカーのニーズに応える。また、倉庫内で選別作業が行えるため、輸入後に港湾から選別工場まで輸送する必要が無く、コストを省ける。投資額は約2億円。

2月から試験稼働を開始している。食品メーカーの視察が相次いでいることから、今後の物の

このほか、本牧A突堤にある富士倉庫のA突事業所(中区)では4月から、コンテナ関係の入庫予定を表示する大型ディスプレイを採用。スケジュールをパソコンに入力すると画面上に表示され、営業マンと現場がリアルタイムに一目で情報共有できるようにしている。今後、他の拠点にも展開する予定。

から、今後の物の確保・育成にも注力している。社員の平均年齢は34歳で、現場からの改善提案については投資が必要でも積極的に採用している」と話している。

(吉田英行)